

『葉とらずりんご』



生産者の“外見より味に重点を置いたりんごづくり”への想いを受け、
組合員と生産者、生協が一緒に育て、つくるりんごづくりを3年間取り組みました。
この3年間、組合員と生産者の交流をはじめ、産地での生産状況や活動状況をお知らせしながら、
より多くの組合員に“葉とらずりんご”を知っていただき、
利用を通じて商品づくりへの期待や生産者へのメッセージが寄せられました。

3年間を振り返って

この3年間の気象状況は、生産者もこれまで経験したことのないほど、りんごを作りづらい環境でした。生産者は、毎年「おいしいりんごをしまねの組合員さんに食べてもらいたい」という気持ちを持ってきましたが、難しい気候が続き、納得のいく結果には至りませんでした。自然の厳しさを改めて知った3年間でした。



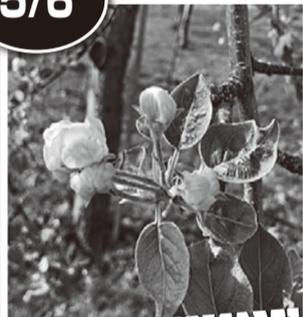
事務局・斉藤篤寿さん

あと2年をめざして!!

この3年間のりんごの評価は、高い糖度と多汁について安定した一方で、「味のムラ」や「果肉の軟化」など、りんごの品質の安定化に課題が残りました。
そこで生協では、さらにあと2年をかけ新しいりんごづくりに取り組みます。りんごの品質と味は生産者ごとに異なります。生産者ごとの園地の特徴や技術を活かしながらも、「品質・味」についてのバラつきを無くすことを重点に栽培内容を検討していきます。
生産者と組合員、生協しまねと一緒に育て・つくる「葉とらずりんご」の取り組み。組合員さんと生産者双方の声を今まで以上に通わせることで、津軽産直組合の“葉とらずりんご”と言える商品づくりをすすめます。
りんごを利用して生産者を支え、味、品質など、たくさんの声を生産者に伝えながら“おいしいりんご”づくりに取り組みますので、引き続き組合員の皆様のご協力をお願いします!

産地情報

5/6



春の訪れとともに花が咲き始めました。温暖化の影響で例年より1週間早い開花です。

5/11



受粉するとガクが立ち上がってきます。青森県では、温かい南風の影響でめしべが乾き受粉出来ない園地が多く出ています。

5/23



りんごの果肉になる子房は、横幅8ミリに生長しました。

6/14



摘果作業中の斉藤信一さん
*摘果作業とは…5個の実から一番良い果実を残し、大きくおいしく育てるための大切な作業です。

6/22



子房は、約3cmに生長しました。青森県では黒星病が蔓延し、大騒ぎになっています。3名の生産者も少し被害が出ています。他では黒星病で全滅の園地もあり、落葉したり被害が拡大しているため、今後も気を抜けない状況です。
※黒星病とは…感染した部分の生長を止める病気

組合員参加メンバー募集 葉とらずりんごを生産者と一緒につくりませんか!!

生協では、組合員参加による生協しまね独自の“葉とらずりんご”づくりの参加者を募集します。葉とらずりんごをもっと組合員に知っていただき、より多くの組合員が新しいりんごづくりに参加いただくよう、生産者と一緒に検討します。
“葉とらずりんご”の産地(青森県・津軽産直組合)に行き、見て・学んで・交流したことを組合員へお知らせします。

活動内容

- 栽培状況、生育状況など、生産者と意見を交わしながら、りんごづくりについて話し合います。
- 産地のようすなど、組合員にわかりやすい情報を発信します。
- 生産者を招いての交流会の内容を話し合います。

募集要件

- 人数:3名(応募者多数の場合は抽選とします)
- 月2回程度の打ち合わせに参加できる方(会場は松江市又は出雲市)
- 2泊3日の産地訪問(8月~9月)に参加が可能な方
- 任期:2019年3月末まで
※活動費、交通費の支給有り

お申し込みは

- 組合員サービスセンター:0120-336-021
(受付時間 月~金:8:30~21:00/土曜:8:30~18:00)
①「葉とらずりんご組合員参加メンバー募集」 ②お名前・組合員コード ③連絡先
- 【申し込み締め切り】7月21日(土)
- ※結果は、7月23日~順次ご連絡いたします。
- ※お聞きした個人情報は、生協しまねの活動以外には使用致しません。

生産者のみなさんへ

応援メッセージや聞いてみたい事など自由にご記入ください。
いただいた声を生産者へ届けます。

組合員CD()

お名前